

# 藤井浩人TIMES

## — 未来への挑戦 — Vol.6



令和2年12月26日、私に科せられた執行猶予3年間が終了しました。

これにより、停止されていた私の選挙権、被選挙権が回復します。こちらの会報をお読みいただいている皆さまには十分ご理解いただいている、今回の大変不可解な事件ではありませんが、先人たちが定め、私たちが守るべき憲法と法律に従い、この3年間に耐えて参りましたが、今後、事件の詳細をご理解、ご存じない方から批判や中傷が私や家族、またはご支援いただいている皆さまにも向けられることがあるかもしれませんが、私自身、何一つ恥じることはないと考えております。正々堂々、信念を曲げることなく政治活動を行なっていますので、皆さまには、引き続き私を信じて、ご支援、ときにはご指導いただけますこと、よろしくお願い申し上げます。

この3年間、多くの皆さまに励まし、支えていただき、何とか今日まで歩むことができました。その毎日が「再び、政治家を志して良いのだろうか」という自問自答を繰り返す日々でもありました。10年前、市議会議員という未知の世界へ足を踏み出したときには、「世界やこれからの社会で活躍できる教育を子どもたちに施したい」という我武者羅な思いで一杯でした。市長選挙に挑戦したときには、渡辺直由市長の語られた、『未来創造都市』を実現しなければならないという重責と、議員当選後に皆さまからいただいたお話や、現場で直に感じた数々の課題、東日本大震災をはじめ全国を見て周ることで得た知見をもとに、「孫子の代まで住み続けられる美濃加茂市」を、皆さんと成し遂げたいという思いで一杯でした。

市長在任中には、数々の問題点と未来への課題と向き合いました。そして、まさか、自分自身が思いもしない疑いをかけられ、逮捕、起訴、そして裁判にかけられ有罪となり、司法の最高権威である最高裁判所では真実に向き合っすらもらえないという現実身に置いたことから、一見、モノの豊かさに溢れ、制度上完成されているかのような私たちの国、日本においても、真実から目を背け、正しいことが認められない、正直者が馬鹿を見るかのような現実と、そんな仕組みがあることがよく分かりました。多くの先人の方々、そして先輩方が築き上げてきた素晴らしい日本や故郷の資源や財産を、一部の人たちに食い潰されていくのを見て見ぬふりをして待っているわけにはいきません。現在を生きる私たちが預かっている大切なバトンを、子どもたちに希望と優しさと共に、しっかりと渡すことが私たちの生きる意味だと思えます。3年という時を経て、美濃加茂市への情熱と思いは、より強く、大きなものとなりま

した。皆さんからいただいた力を、一つ一つ未来への力に変えてお返ししていきます。裁判の続きについては、報道でも少し出ていますが、市長辞職後に刑事裁判では明らかにならなかった事件の真相解明のために民事裁判を起こしました。裁判に向けての活動の中で、驚くべき事実が幾つも明らかになってきました。詳細は改めてお伝えさせていただきますが、「再審請求」も念頭におきつつ、弁護団の先生方と今後の対応の準備をしております。

## 政治活動を再開

公民権停止を終えることができ、政治活動を再始動していきたいと考えております。本来であれば、このタイミングで皆さんの前で直接お話しできる集会や、美濃加茂市すべてのお家にご挨拶に回りたい思いですが、現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に市政も全力で取り組んでいる最中ですので、そのような活動はコロナ終息後に行い、当面はインターネットやLINEなどを通じて発信していきたいと考えています。

また毎年のごとくですが、政治家は年賀状等を出すことは公職選挙法によって禁止されているためお送りすることができません。ご理解の程、宜しくお願い致します。

## イメージカラーをチェンジ

2010年の市議会議員出馬当時から「グリーン」をイメージカラーとして身につけてきましたが、それから10年が経ちました。当時はグリーンを使う政治家はそこまで多くありませんでしたが、最近は多くの方が使用していることや、私自身もギアを一つ切り替える想いを込めて、私の苗字「藤井」に因んで「藤色」を使用してみたいと思っています。藤色を見たら、藤井浩人をイメージしていただけるよう、今後も邁進して参ります。(これまでに使用してきたものなどは、そのまま利用しますので、当分の間は緑色と藤色が混在すると思います。)

## 藤井浩人の主な活動

以前の会報でお知らせさせていただいたように、毎週、東京と美濃加茂を往復する生活をしていましたが、往復で利用していた夜行バスが休止したことや(12月から再開)、何より私の活動が原因で新型コロナウイルス感染症を美濃加茂市に運ぶことがあってはならないため、最近は美濃加茂市にて大学院における研究活動や授業はオンラインを活用して行い、金子俊平事務所での活動は可児の事務所を出入りしながら行なっております。コロナ第1波とされる4月、5月頃には有志の仲間と共に、当時急速に客足が冷え込んでしまった飲食店関係のお店を周り、テイクアウト(お持ち帰り)についての情報発信のお手伝いや、政府の感染

症対策などについて貴重なお話をいただきました。また、持続化給付金や家賃補助をはじめとした政府による支援施策について、何か自分にもできることはないかと考えていた時に、金子議員より「困っている人や、制度を知らない人がいないように、どんどん現場の声を聞いてきて欲しい」との有り難い指示をいただき、手続きや支援の内容についての相談を幾つもさせていただき、問題があると感じた時にはその都度、議員にお伝えさせていただきました。特に支援策については、市や県との連携が重要なため、伊藤市長、小川県議とも意見交換をさせていただき、少しでも行政のコロナ対策が有用となるよう活動して参りました。また、先日、古田肇知事、伊藤誠一市長、岐阜市(柴橋正直市長)各務原市(浅野健司市長)、関市(尾関健治市長)が出席された会合に同席させていただき、これからの岐阜県や美濃加茂市について様々な切り口からお話をさせていただきました。



## 次男が誕生しました

令和2年11月に次男、志湧(しゅう)が誕生しました。コロナ禍ということもあり、立ち合いができない病院も多くあると聞いていましたが、家族1名のみ立ち合いとお見舞いが可能ということで、長男に引き続き今回も立ち会うことができました。病院内は医師の先生を始め、看護師、職員さんが徹底したコロナ対策の中、大変な緊張感を持って対応されており、医療従事者の皆さまのご負担とご苦勞を、社会全体で支えられるような体制が出来ないものかと感じました。

悪阻からはじまり10ヶ月、体調が優れない大変な毎日と、出産を乗り切ってくれた妻を改めて尊敬し、心から感謝しています。それから1ヶ月、お宮参りを古井神社にて執り行うことが



できました。今年1年はイベント等が開催されなかったため、皆さんにお会いできる機会がほとんどありませんでした。終息した際には、家族でたくさん出かけていきたいと思っておりますので、顔を見ていただけたら大変幸いです。

# LINE 公式アカウント

藤井浩人同志会のLINEアカウントを作成しました。現在、読んでいただいている会報は引き続き頻度を変えながら発行いたしますが、LINEにて毎月1度近況報告など、日々の活動をより細かく配信していく予定です。LINEを活用することで急な情報もお届けすることができますので、下記の方法でぜひご登録をお願いします。

そしてこちらの会報ですが、サステナブル社会（持続可能な社会）のニーズに応えるため、環境に配慮した取り組みに変えていきたいと思っております。データが良いという方は、LINE登録後にデータ配布希望のページより、お名前とご住所をお知らせ下さい。

QRコードで登録



ID検索で登録

@hiroto-fujii



上記IDを入力して検索

LINEの「友だち追加」画面からこちらのQRコード  
またはID検索で追加をお願いします。

## 藤井浩人同志会より御礼

いつも藤井浩人及び同志会の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。いただいた献金は藤井TIMES発行や、政治活動の資金として大切にご活用させていただきます。引き続き個人献金は募集しておりますので、藤井浩人の政治活動にご理解、ご賛同いただける方はよろしく申し上げます。

【お振込み先】 大垣共立銀行 美濃加茂支店 普通992000

藤井浩人同志会 代表者 藤井浩人

現在の政治資金規正法では、藤井浩人同志会が企業・団体献金を受けることは禁止されております。また、政治家個人への寄附は認められていないため、藤井浩人同志会(政治団体)が、皆様から頂戴した献金をもとに藤井浩人を支援致します。そのため、ご寄附いただいた際には、お礼と領収書の発行などがございますので、藤井浩人のホームページよりご連絡いただくか、下記メールまでご連絡下さい。

藤井浩人同志会へ入会いただける方、「藤井浩人TIMES」配布ご希望の方、ご献金いただける方は裏面のEメールアドレスもしくはLINEにてご連絡下さい。